

新たな挑戦

自然科学研究科 宮坂恭兵

・留学の理由・目的

単純に海外で英語を使って生活することに興味があったというのがきっかけでした。休学や留年などの心配がなく、新潟大学での研究を継続することができる環境だったので留学をしました。

・留学先での学習・活動と生活の環境

学習に関して、留学先であるサウスイースタンルイジアナ大学の研究室での研究がメインで、概ね9時から17時までは研究室にいて研究を行っていました。現地の学生と共同研究を行っていたため、実験、考察など英語で議論をする機会が多かったです。また、講義も履修していて、物理、留学生のための英語、研究報告会、柔道の講義を履修していました。サウスイースタンルイジアナ大学は新潟大学との学生交換協定を結んでいるため、単位互換対象の科目に関しては新潟大学での単位に置き換えることができます。

生活に関しては、大学近くのアパートを借りて同じ研究室の留学生とルームシェアで、私を含め日本人2人、韓国人2人の合計4人で生活しました。食事は、主に昼は学校のカフェテリアで、夜は自炊をすることが多かったです。韓国人に料理をふるまうことや、韓国料理を食べさせてもらうことが出来ました。休日には近くの飲食店を探して外食することが多かったです。

・1日あたりのスケジュール、時間割など

平日

8:00 起床、研究室もしくは講義へ→12:00-13:00 お昼休憩→13:00-17:00 研究室→17:00-20:00 月火木は講義、水金は大学付属のジム

休日

9:00 起床→10:00-17:00 カフェで課題やプレゼン準備(お昼は周辺の飲食店で)

・印象に残った留学中のエピソード

アメリカ入国時、留学目的での入国に必要な書類(DS2019)を預け入れ荷物の中に入れてしまい、入国ができずに40分ほど立ち往生してしまいました。必要資料は必ず手荷物に入れるようにしてください。

・留学して学んだこと

留学生のための英語の授業を受講していて、英語の能力は同等なのに、ヨーロッパ系の留学生は質問に積極的に答え、自分の意見を発表するのに対し、アジア系の学生は質問されるまで黙っていることが多かったです。これから国際化社会で仕事をするにあたって、こういった方々と対等に意見を交わせるような積極性と英語力をつける必要があると思いました。

・語学がどのくらい上達したか

留学後まだTOEICやTOEFLを受験していないので、客観的な資料はないものの、英語での会話で

聞き返すことや、言葉に詰まることが留学開始直後と比較してかなり少なくなりました。私はもとより英語が得意だったので、語彙力や読解力に不足はないと思っていたのですが、留学序盤はまわりの友人や店員の言っていることが聞き取れないことや言いたいことが出てこないことが多く、迷惑をかけてしまっていました。実際に住んでみないと疑問にも思わない単語や表現が多く、英語の教科書や単語帳では学べないことがたくさんありました。

- ・留学を薦める理由

海外で生活するという経験は人生で幾度とないチャンスだと思います。勉強、語学の面だけでなく価値観の違いや食生活など、実際現地に住まないとわからないことが多いです。また、自分から行動を起こさないと何もできないので、自主的に行動する習慣が身につくと思います。その他にも現在就活をしていて、面接や履歴書などでアピールすることに困らないという現実的なメリットもあります。

- ・トビタテで留学して良かったこと

まず経済面でのメリットが一番だと思います。旅費やアパートなど不可欠かつ高額な出費も多いほか、留学中にしかできないことが多くあると思います。そういった場面でも、金銭面を理由に二の足を踏む必要がないためよかったです。

また、申請時や事前研修で自分の留学の目的を明確化できるので、留学をより充実したものにできると思います。

